

あいりん地域まちづくり会議 労働施設検討会議議事のあらまし (令和4年度)

- 労働施設検討会議開催概要（令和4年2月～） 1
- 新労働施設に係る基本設計の取りまとめ 2
- 新労働施設に係る基本設計の概要 4
- 西成労働福祉センターの新たな取組み 14

令和5年3月

労働施設検討会議開催概要について
(第64回労働施設検討会議以降)

〔第64回〕令和4年2月7日～令和4年2月16日(書面開催)

- ・令和3年度における労働施設検討会議の議事等について

(「令和3年度労働施設検討会議議事のあらまし」について了承を得た。)

〔第65回〕令和4年4月25日

- ・新労働施設に係る基本設計の報告について

《新労働施設について》

⇒ 今後も設計会社の方で具体的な提案も出てくると思うので、その都度会議でみなさんに報告させてもらいながらご意見を伺っていきたい。

《京都ジョブパークについて》

⇒ 新労働施設での就労支援については、生活保護、困窮者支援というところも、視野に入れた仕組みしなければならない。

新労働施設に係る基本設計の取りまとめ

<規模・諸室等の配置>

- 新労働施設に係る基本設計については、別紙「平面図」の規模及び諸室等の配置案を基本とする。

地上 5 階建て 1階～5階面積合計 8,036.23 m²

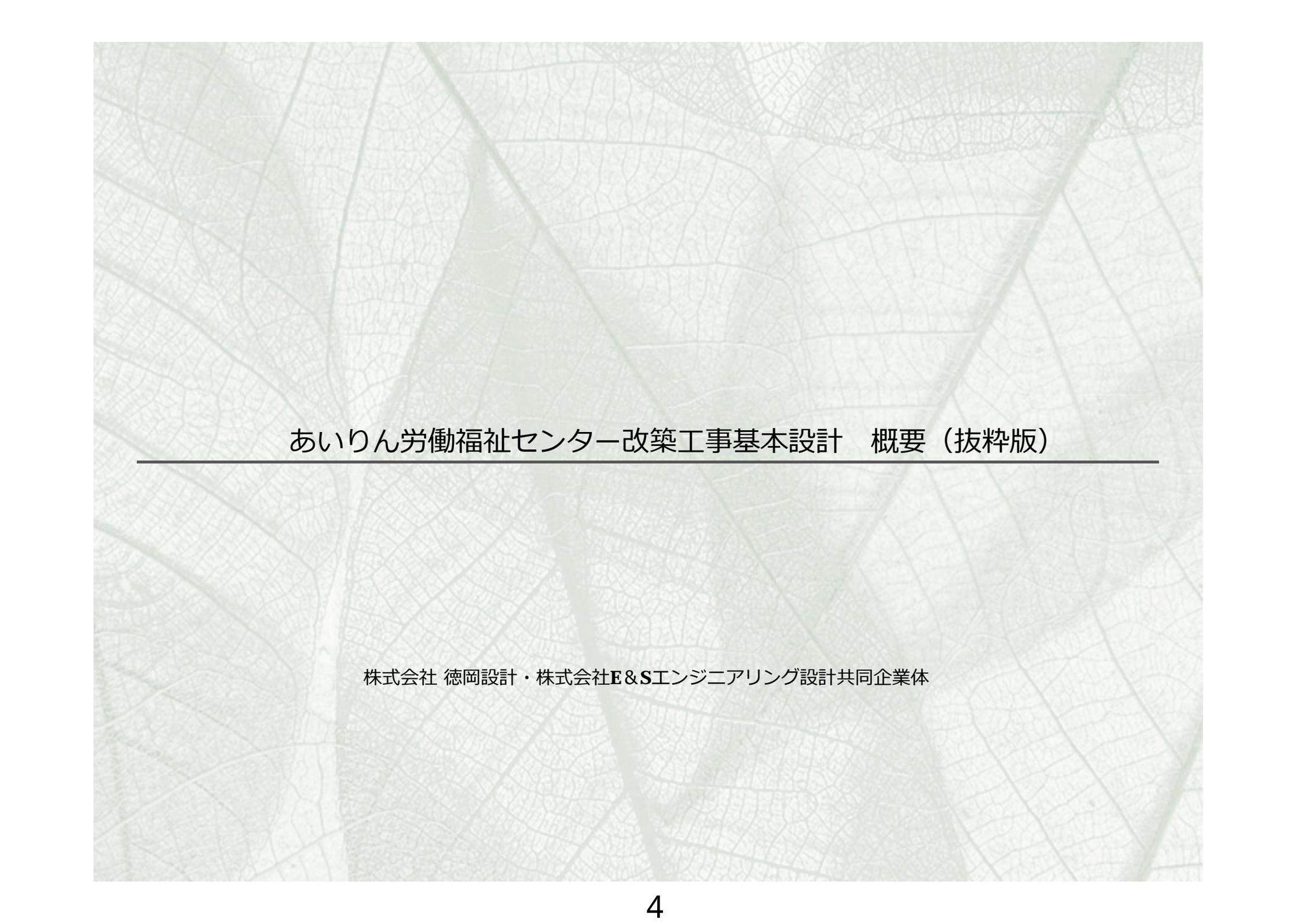
(1階:2,156.86 m² 2階:2,132.82 m² 3階:1,846.12 m² 4階:1,790.14 m² 5階: 110.29 m²)

<設計・デザインに当たっての申し送り事項>

- 新労働施設として、若者、女性、外国人、障がいのある方など様々な利用者を想定し、優しさや温かさなどが感じられるよう配慮して設計・デザインすること。
- インテーク窓口（最初の面談・相談）の配置や向きについては、入口のあり方も含め、窓口としての親和性に配慮するとともに、動線もしっかりとシミュレーションしたうえで設計・デザインすること。
- メイン入口は南東の角とするものの、北側の入口については、親和性や見え方などにも配慮して設計・デザインすること。
- 環境の問題や緑化の問題、SDGs への取り組みなど、新たな社会に向けた空間にすることにも配慮して設計・デザインすること。

<その他の要望事項>

- スtockヤードについては、使い勝手や見え方も含めてしっかりと計画してほしい。(利便性と外観への配慮)
- オープンスペース待合については、その使い方の検討結果に合わせ、柔軟に対応できるように計画してほしい。(柔軟性の確保)
- 清掃作業員詰所については、動線もしっかりとシミュレーションしてほしい。(利用形態への配慮)
- 仕事を探すおっちゃんや若者、女性などいろんな人が寄りやすい空間及び使い勝手をセットに計画してほしい。(親和性と利便性の確保)
- 将来北側にできる施設と直接行き来できる形を検討してほしい。(将来開口の可能性配慮)



あいりん労働福祉センター改築工事基本設計 概要（抜粋版）

株式会社 徳岡設計・株式会社E&Sエンジニアリング設計共同企業体

I-1 基本設計条件

敷地概要

所在地	：大阪府大阪市西成区萩之茶屋一丁目		
敷地全体面積	：4,566.83㎡		
地目	：宅地		
都市計画	：都市計画区域内 市街化区域		
地域地区	：愛隣特定街区（廃止後地区計画の予定） 駐車場整備地区		
用途地域	：商業地域		
指定容積率	：100%		
建ぺい率	：80+10（角地緩和）+10（準防火地域内の耐火・準耐火）=100%		
高さ制限	：-		
斜線制限	：道路斜線 1.5 隣地斜線 2.5		
日影規制	：商業地域のため無し		
防火地域	：準防火地域		

前面道路	西側道路	南側道路	東側道路
名称	：西成区第8820号線	西成区第8807号線	西成区第8819号線
幅員	：11.0m	8.0m	8.0m
建基法定義	：第42条1項1号道路	第42条1項1号道路	第42条1項1号道路
境界明示	：-	-	-

土地利用履歴	：現況 あいりん労働福祉センター 大阪社会医療センター附属病院 萩之茶屋住宅【すべて閉鎖、移転】
インフラ整備状況	：-
現況測量	：将来実施予定
地質調査	：将来実施予定
地中障害物	：現況施設地下躯体及び杭（計画建物の干渉する部分のみ撤去、引き抜き予定）

・周辺環境

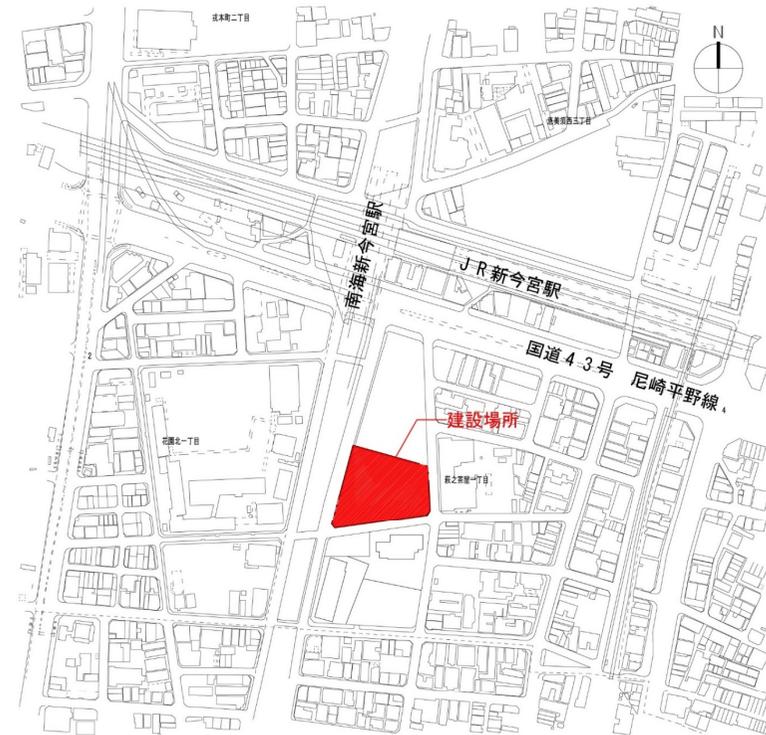
- ・北側：国道25号 尼崎平野線
- ・東側：救護施設 三徳寮（大阪白彦館）
- ・南側：萩之茶屋北住宅1・2号館
- ・西側：南海高架・西成労働福祉センター（仮移転場所）

・アプローチ

- ・JR大阪環状線、南海電鉄南海線、高野線 新今宮駅より 徒歩1分
- ・大阪メトロ堺筋線、御堂筋線 動物園前駅より 徒歩3分

●付近見取図

Scale=1:000

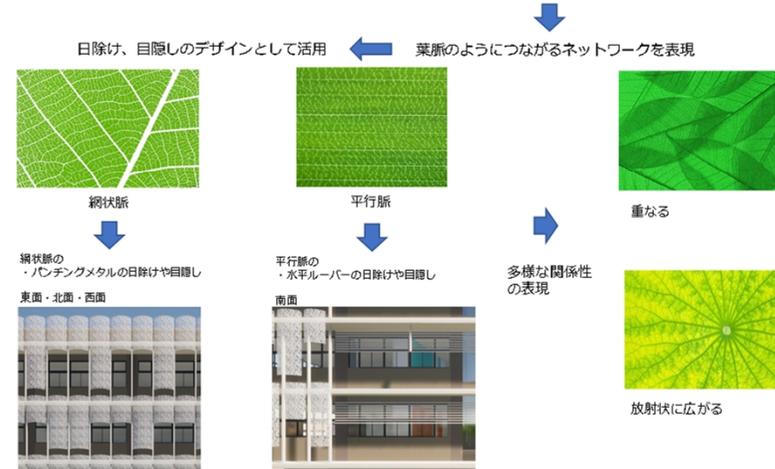




デザインコンセプト 緑の景観からの展開

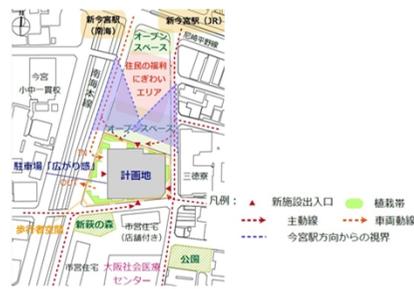
あいりん労働福祉センターは、様々な既存組織を日常的につなぎ、多様な角度から利用者をサポートする場となることから、緑のイメージから樹木を育むためにすずみに養分を運ぶ「葉脈」をデザインのモチーフとして、葉脈のようにつながるネットワークを表現します。

緑のイメージ：葉脈 ⇒ 葉のすずみに養分を運ぶ ⇒ 課題を抱える誰もを受け止めてきた究極のセーフティネット



注記：外観パースはあくまでも基本設計時点でのイメージです。
今後実施設計を予定しているため、色や形などのデザインは変更する可能性があります。※北側(大阪市有地)については未定。

設計趣旨・デザインコンセプト



国際化、観光化が進む周辺地域の中で、緑地の少ないこの地域に「住民の福利・にぎわいエリア」と「労働エリア」の間に位置するオープンスペースによって広がる視界とつながるように、セットバックしながら立体的に配置する植栽により新今宮駅方向からのアイキャッチとなる緑の景観を創出します。

※大阪府条例（建築物の敷地等における緑化を促進する制度）3.1条（府有施設等の緑化義務）に基づき、敷地面積の20%の緑化が必要となります。敷地面積4,566.83㎡に対して913.27㎡の緑化が必要となりますが、敷地内には建築本体以外に駐車場、駐輪場などの確保が必要のため、必要緑化面積の40%程度が地上での緑化となり、残りは屋上緑化や壁面緑化で補うことになります。



敷地北東側から見たイメージ図



敷地北西側から見たイメージ図

「住民の福利・賑わいエリア」と「労働エリア」をつなぐ緑の景観

緑の立体化：屋上緑化 壁面緑化

外観デザイン

木の葉をイメージしたパンチングメタルのスクリーンを庇の先端部に取り付けることで、利用者のプライバシー、周辺との視線の緩和、日射による居室の負荷軽減を実現しながら、全体イメージを樹木のような優しさのある外観とします。



北立面図



西立面図



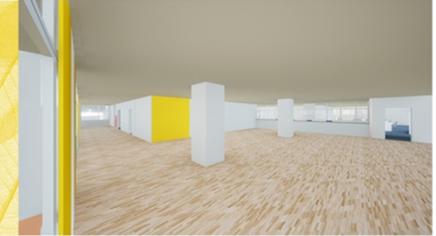
一般的に白を基調とした無彩色の空間になりがちなエレベータホールや廊下空間には、木々の季節の色をアクセントカラーとした案内サインなどを配した壁面をわかりやすく適所に配置して、明るく感じる元気になる空間とします。

階ごとにテーマカラーを決めて ⇒ 蒼草色（新緑）
サインとともに組み合わせ

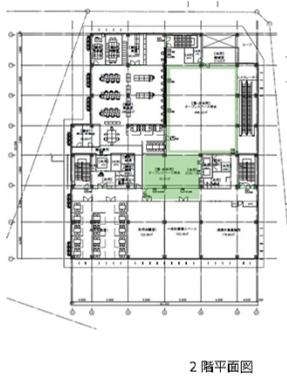


注記：基本設計時点での内観イメージです。
今後実施設計を予定しているため、色や形などのデザインは変更する可能性があります。

階ごとにテーマカラーを決めて ⇒ 黄色（黄葉）
サインとともに組み合わせ



階ごとにテーマカラーを決めて ⇒ 緑色（深緑）
サインとともに組み合わせ



階ごとにテーマカラーを決めて ⇒ 赤色（紅葉）
サインとともに組み合わせ

